

令和8年度島根県職業訓練実施計画の策定に向けた方針(案)

資料No.4-3

令和7年度計画と同程度の規模で人材を育成

実施状況 の分析

①就職率が高く、応募倍率が低い分野
(R6実績で該当する分野) 「介護・医療・福祉」



◎令和6年度ワーキンググループ改善案(介護業界マッチングマニュアル)を受講勧奨に活用し実績を検証する。

②応募倍率が高く、就職率が低い分野
(R5実績で該当する分野) 「営業・販売・事務」



◎令和7年度に引き続き、令和5年度改善案(訓練用キャリアコンマニュアル)を活用し実績を検証する。

計画と実績 の比較

③定員と受講者数が大きく乖離あり。少人数での開講、応募者不足により開講できないコースもある。



◎ワーキンググループで作成した改善案を活用し、広く周知し受講勧奨する。

デジタル 化に向けた取組

④デジタル化に取り組む企業およびIT企業が少なく、急な推進は難しい。
基礎的なデジタルリテラシーは求職者・求人者双方に需要がある。



◎デジタル分野のコース設定拡大に取り組みつつ、その他の訓練分野に基礎的なデジタルリテラシーが身につくカリキュラムを積極的に盛り込む。